

た。ご指摘の点はじゅうぶん反省して、今後は厳然たる態度で臨みたい。

山岸議員〔③〕英靈にこたえる会

勝山支部の設立趣意書に、後援団体として勝山市議会の名称が使われているが、了解なしに使つたのでないか。

福祉事務所長〔⑧〕無断で使うつもりはなかつたが、手違いによりこうなつた。まことに申わけない。

山岸議員〔④〕温泉適地調査の結果を聞きたい。

市長〔④〕金沢大学地質学教室の教授に調査をしてもらつたが、いよいよ条件があつてむづかしいようだ。しかし、可能性を見出させる地点を指摘されているので、もう一步すすめて電気探査をやる予定。この費用を新年度で予算計上した。

元禄土地区画整理

事業の問題点について

和田議員〔①〕元禄土地区画整理事業に関して、次のこととを問う。

(1)元禄土地区画整理事業は、当初計画や商業診断書の提案がじゅうぶん生かされていないとの対話に欠けているよう

思つ。

(2)地権者である市の持ち分を放

出できないか。

市長〔①〕(1)元禄土地区画整理事業については、再二にわたり説明会を開いてきているが、土地区画整理事業の推進には地権者の発言がいちばん重みをもつ。

元禄地区は、区域も小さく、建物も入り組んでいるところに元禄線という広い道路をつくるのでなかなかむずかしい。商店街づくりについては、商業診断書による提案もあるので、商店ではない地権者に理解を得られるよう交渉中であるが、理想どおりいかないのが現状。

このう事情で、計画も一部変更し、完成も延びるが、今後

五十七年度予算と振興計画の関連について

藤田議員〔①〕行政全般に対する見直しは大事であるが、振興計

とも関係者間でじゅうぶん協議しながらすすめていくので、しばらく時間をお貸しいただきた

い。

都市計画課長〔②〕元禄土地区

画整理事業は、整理前と整理後

の評価の差を補償していくとい

う減価補償方式をとっている。

土地開発公社が取得したケイ

テーの跡地などは地権者に補償

てる予定で、一般に公売できる

保留地はない。

和田議員〔②〕越前大仏の建立に

関し、大仏殿を中心とした旭町

周辺はもとより、勝山市全体の

都市づくりの構想を早く明らか

にすべきでない。

市長〔②〕越前大仏建立による本

市の都市づくりについては、この

貴重な観光資源を最大限に利用

し、白山国立公園、奥越高原県

立自然公園と有機的に結合させ

ながら、点的観光から面的観光

へとすすめていき、また、通年

型、家族指向型、滞在型などレ

クリエーション基地の整備をし

ていくための観光ルートの設定

をはかつていく。そのほか土産

品の開発も民間と共同で進めて

いくし、門前町を考慮した土地

利用の問題も、五十七年度に土

地利用の見直しの調査費を計上

しており、温泉調査などにも銳

思つ。

市長議員〔①〕元禄土地区画整理事

業について、次のこととを問う。

(1)元禄土地区画整理事業は、當

初計画や商業診断書の提案が

じゅうぶん生かされていない

のではないか。関係住民や団体

との対話に欠けているよう

思つ。

市長〔①〕(1)元禄土地区画整理事

業については、再二にわたり説

明会を開いてきているが、土地

区画整理事業の推進には地権者

の発言がいちばん重みをもつ。

元禄地区は、区域も小さく、

建物も入り組んでいるところに

元禄線という広い道路をつくる

のでなかなかむずかしい。

商店街づくりについては、商

業診断書による提案もあるので、

商店ではない地権者に理解を得ら

れるよう交渉中であるが、理想

どおりいかないのが現状。

このう事情で、計画も一部

変更し、完成も延びるが、今後

はあります。

藤田議員〔①〕行政全般に対する見直しは大事であるが、振興計

画の実施計画とのからみで、五

十七年度予算にはどのように配

慮されたのか、聞きたい。

市長〔①〕総合振興計画は、單

なる目標や夢でなく、現実にやつ

ていかねばならないと感じてい

る。今後の予算編成には、振興

計画を最重視して取り組んでい

く考えである。

実施計画は三年ごとのローリ

ング方式で、策定していくが、

五十七、五十八、五十九の三カ

年で総額約四百億円の事業を見

込んでいる。財源は一般財源だ

けでなく、国・県の補助金も見込

んでいるが、臨調の関係で相当

の影響を受けると思つている。

五十七年度の実施事業の一般

財源は九億九千七百万円である

が、実施計画とは一致している。

藤田議員〔④〕(1)青年の生きがい

対策について、どのように考え

ているか。

市では、助役を委員長とする

指導委員会をつくつて、入札の

あり方について研究しているが、

当面は競争入札参加者の指名

数の増加▽業者の能力をじゅう

ぶん把握のうえの選定▽予定価

格の管理の強化などの措置をし

ている。

藤田議員〔④〕(2)国の行政改革と

の節減、特別なものを除く補助

金のすえ置きなど国との整合性

を考えながら査定した。

藤田議員〔②〕(2)国行行政改革と

もに、市も行政サービスの改善、

職員モラルの向上、事務・事業

の見直しなど総点検をしなければ

ならないが、市民と行政の守備

範囲の問題、職員の民間派遣な

どについてどう考えていきたい。

市長〔②〕市民のニーズが複雑・

多様化しているが、市民のみな

さんが当然しなければならない

ことでも、高度成長のなかで、

行政側が安易に行ってきたこと

もある。国行政改革には、わ

れわれも安穩としてはいられない

ので、行政の守備範囲の問題

はこれから仕事をすすめていく

うえで、じゅうぶん踏まえて考

えていきたい。

教育長〔④〕(1)青年の生きがい対

策は、将来の勝山の不沈にかか

る問題。生きがいをもつため

に、教育・文化的なことでの生

きがいの場づくり、たとえば公

民館の利用はもちろん、勤労青

少年ホーム、働く婦人の家など

に、教育・文化的なことでの生